

学校だより



あたらしき あたたかさ たくましき

われらの金池

令和8年6月 1日
第 3号
大分市立金池小学校
文責：校長 安藤稔

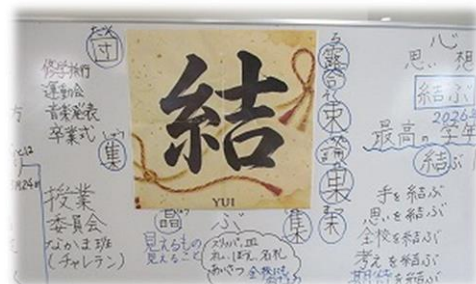
梅雨の6月 ～自然や人に潤いを与える時期です～

1学期も後半に入りました。6月、梅雨の季節です。人間にとっては嫌なイメージの梅雨時期ですが、植物の生長には欠かせない水であります。

この時期、外遊びができない日が続くと思いますが、室内での過ごし方を工夫することで、新たな楽しみが増えるかもしれません。睡眠時間をしっかりと確保して健康で乗り切っていきましょう。

さて、今月は6年生が、4日(木)～5日(金)にかけて、佐賀、長崎、熊本方面に一泊二日で修学旅行に出かけます。事前にたくさんの学習を深めている6年生ですので、きっと思い出に残る素晴らしい旅行となるのではないかと思います。この旅行で得た自信を、その後の学校生活で生かしてもらいたいです。

5月中旬以降、ルネサンス大分さんの協力による水泳学習も始まっています。体育(運動)については、好き嫌いがはっきりしていますが、苦手な児童も小学校のこの時期、身体のたくさんの部位を動かして、心身の健康を培っていききたいものです。



【6年生学年目標 結】～様々な結を發揮し、いざ修学旅行へ～

【低学年の子どもの様子から】

- 生活科の学習で、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトをそれぞれの鉢に植えています。水やりに毎朝がんばっていますが、前日の夜にたっぷり雨が降った翌朝も同じように水をあげる姿があります。そこは、これからの学びです。
- 2年生の図工では、新聞紙を使って、様々なものを作る活動をしていました。ある学級では、教室の机を下げ、教室全体が新聞で飾られており、ダイナミックに活動し、子どもたちもノリノリでした。

幼児期は、遊びを通しての学びが基本ですが、小学校に入ると教科のねらいに沿った学習になります。生活科や図工などは、幼から小へ子どもの育ちをつなぐ大切な教科です。

【地域を大切にするととは…】

- 学校は、地域の中に存在しています。それ故に、地域と共存していかなければなりません。
小学生だから、何をやっても許されるというものではありません。以下、ここ最近の子どもの姿で気になる行動をお伝えします。
 - ・ 下校時、児童玄関から出た瞬間から、大きな声で友達と騒ぐ。
 - ・ 歩道いっぱい広がって帰る。
 - ・ 他人の敷地内に入って遊ぶ。
 - ・ 下校途中、歩道に宿題を出してやろうとする。
 - ・ 朝、玄関の鍵があくまでコリドーで遊ぶ。 等
- 学年の発達段階に応じてですが、「この時間に大声を出すと、眠っている赤ちゃんや病気で寝込んでいる人の迷惑にならないかな。」「横いっぱい広がって歩くと通行する人の邪魔にならないかな。」など、思いを巡らすことができる力が大切です。思いを巡らすことができれば、是非とも実行し、地域とともに発展していく金池小でありたいものです。